

カステロ・ヴェルデ (Castro Verde) のエコツーリズム

について



写真: Nuno Lecoq

カステロ・ヴェルデ (Castro Verde) のエコツーリズム

双眼鏡を持って、数時間、平原一帯をじっと見つめる準備をしましょう。これが、カステロ・ヴェルデの黄金色の平原に隠れているさまざまな野鳥の姿に驚嘆する唯一の方法です。

これらの平原は、夏の間は白っぽい色になるため、「カンポ・ブランコ」(Campo Branco)と呼ばれています。これは、イシドリまたはクロハラサケイなど、「アレンテージョの奥地」の穀物が育つ草原の代表的な種を含め、野鳥の生態のための特別保護地帯です。

ヴァレ・ゴンサリーニョ環境教育センター (Centro de Educação Ambiental de Vale Gonçalinho) では、いくつかの環境範囲を定義しています。最も興味深いポイントを通り、旅行を最大限に活用するための情報を提供します。希望すれば、専門家にガイドを依頼することもできます。このガイドは、冬をアレンテージョで過ごすために北欧から数千キロを飛んで渡ってくる鶴など、この一帯の鳥の生態を説明するのについてつけの人物です。ヒメチウゲンボウは2月にやって来て、廃墟となった建物の頂上に巣を作った後、夏の初めに帰っていきます。サンカノゴイは、これらの大きなトウモロコシ畑の中に一年を過ごす完璧な住まいを見つけます。

また、カステロ・ヴェルデの象徴であるノガンは必ず見つけてください。ヨーロッパで最大の飛鳥で、体重16kgの七面鳥ほどの大きさに成長するものもあります。ポルトガルで見つかる1,500種の鳥のうち、約1,350種がここで暮らしています。春が終わる頃、オスが求愛のダンスの一部として、そのカラフルな羽を誇示し、尾の羽をいっぱいに広げる様を見ることができます。これは正に自然のスペクタクルです。これらの素晴らしい光景をあなたの思い出の中だけに留めておかないように、必ずカメラを用意して、いつでもスナップ写真を何枚か撮れるように備えましょう。

この一連の光景を遮るものは、カンムリカイツブリやオカヨシガモなどのさまざまな水鳥を引き寄せるいくつかのダムや小川だけです。モンテ・ダ・ロシャ・ダム (Barragem do Monte da Rocha) を訪問したとき、笑い声が聞こえるのに誰もいなくても、不思議がらないでください。犯人は、ニシツバメチドリの鳴き声に違いありませんから。そのコーラスに加わって、鳥達の喜びの声に酔いしれてみてはいかがでしょうか。